

# いなべ市 議会だより

第37号

平成25年5月1日

発行  
三重県いなべ市議会  
編集  
議会広報編集委員会

## 3月定例議会

- 平成25年度当初予算と主要事業……P2～P3
- 常任委員会の議案審査……………P4～P6
- 発議が5件提出……………P7
- 反対VS賛成討論……………P8～P13
- 議案の審議結果一覧表・副市長の就任……P14
- 5会派が代表質問……………P15～P20
- 10人が一般質問……………P21～P26
- 総括質疑のQ&A……………P26～P27
- 市民の声……………P28～P29
- クイズの当選者……………P30
- 笠間保育園竣工式……………P30
- 編集後記・6月定例議会(予定)……………P30



# 投資的経費に40億円 過去最大規模

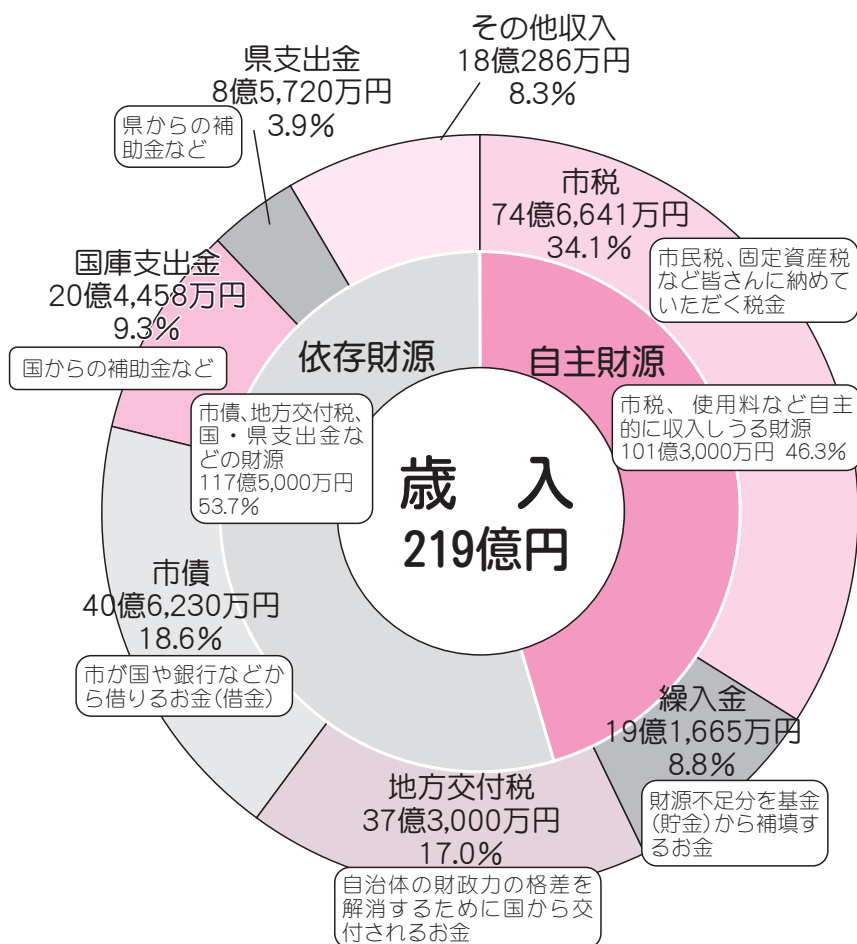
## ヘリポート整備事業

いなべ総合病院の隣に  
ヘリポートを設置予定

事業費 1億7,530万円



ヘリポート



## 大安中学校建設事業

大安中学校校舎建設工事

事業費 14億7,990万円



建設中の大安中学校

## 員弁東小学校プール改築事業

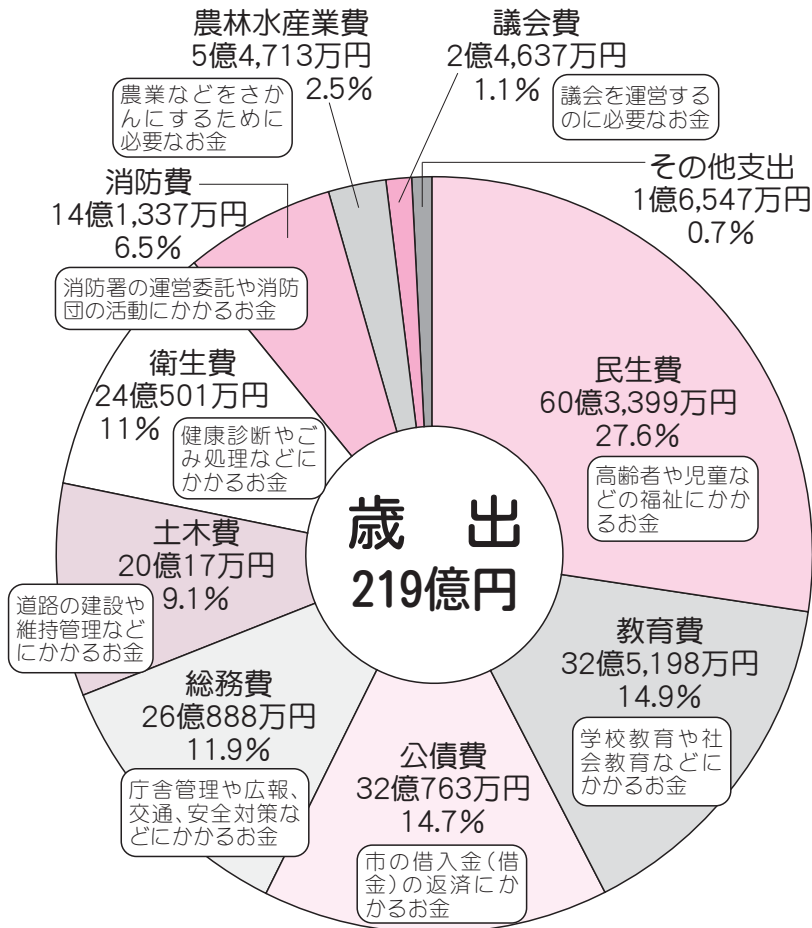
員弁東小学校プール改築、環境整備

事業費 1億5,111万円



改築を行う員弁東小学校プール

# 一般会計予算総額219億円



## 橋梁長寿命化修繕事業

老朽化した青川橋の修繕工事

事業費 6,000万円



修繕を行う青川橋

## あじさいクリーンセンター 基幹的設備整備事業

基幹的設備改良工事

事業費 10億3,971万円

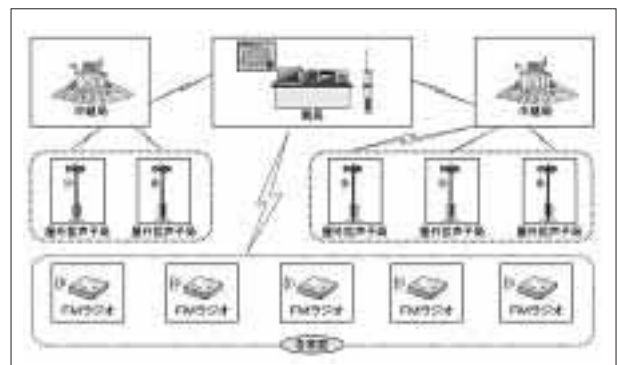


あじさいクリーンセンター

## 防災無線施設整備事業

コミュニティFM局整備、屋外局整備

事業費 3億2,520万円



FM放送を利用した防災無線のイメージ図

# 常任委員会の議案審査

## 総務常任委員会での主な質疑

### 平成24年度一般会計補正予算(第5号)

**Q** 消防施設費が減額となった理由と桑名市消防本部への委託金増の理由は。

**A** 主には県からの防火水槽設置補助金が不採択になったもので、全額減額した。また、委託金の増は職員人件費である。



桑名市消防署員弁南分署

**Q** 諸収入の市税延滞金は何件あったのか。差し押さえ物品の換算した額も含まれているのか。

**A** 平成24年度は361件の差し押さえがあり、前年度の倍近くになり、高額滞納案件によるものもある。引き続き、滞納額の縮減に努める。

**Q** 防犯物品の貸し出し先は。

**A** 市へ登録した防犯ボランティアへ貸し出している。貸し出しできる物品は、帽子、マグネット(車用)、ベスト、腕章、誘導灯などがある。



防犯物品

### 平成25年度一般会計予算

**Q** 自主防災活動事業費の内訳は。

**A** 市内の自主防災組織化率は60%。平成24年度から始まった災害時要援護者避難支援に取り組んでおり、市内120の自治会に広げようとしている。  
コミュニティ助成事業に440万円。防災資機材、発電機、防災コンテナなどの購入を予定している。



防災資機材発電機等

**Q** 三重地方税管理回収機構事業の効果は。

**A** 平成23年度の実績は30件、約1,200万円の移管があった。

**Q** 土砂災害システム対策整備事業費の新しいシステムとは。

**A** 昨年9月に発生した豪雨の教訓をもとに、情報収集、情報共有などを円滑化するための整備である。

**Q** ヘリポート整備事業 1億7,530万円の内訳は。

**A** 用地買収、造成工事の測量設計などを見込んでいる。予算のうち1億5,000万円は社会資本整備交付金を充てる。

# 教育民生常任委員会での主な質疑

## 福祉医療費の助成に関する条例の一部改正

**Q** 子ども医療費について、平成26年度から中学生の通院が福祉医療費助成対象となるが、所得制限と助成対象にならない人は何%ぐらいか。

**A** 所得制限は児童手当の諸制限と同じ取り扱いである。対象者は市内中学生約1,450人でそのうち1割ほどが助成の対象から外れるのではないかと考える。

**Q** 対象者への周知方法は。

**A** 今年度は助成を始めるための準備が主になる。来年3月には受給者証の発行ができるよう、情報誌Linkなどで広報する。

## 地域包括支援センター条例の一部改正

**Q** 地域包括支援センターが一本化されて人員に変更はあるか。

**A** 9人で市内全域をカバーする。

**Q** 社会福祉協議会へ委託することで、市と連携しなければいけないような難しいケースなどの対応に支障はないのか。

**A** 虐待などの困難事例については長寿福祉課と連携を図りながら対応していく。



統合された地域包括支援センター  
(市社会福祉協議会北勢支所内)

## 平成24年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

**Q** 平成24年度の保険料軽減の対象者は

**A** 7割軽減が1,608人、5割軽減が627人、2割軽

減が1,342人、合計3,577人。全体からすると33.6%になる。

## 平成25年度一般会計予算

**Q** 今年度から始まる住民基本台帳カードを利用して住民票の写し、印鑑登録証明書などの各種証明書を取得できるコンビニ交付サービスの導入で、住基カードの発行枚数はどれくらい増えるの見込んでいるか。

**A** 平成25年2月末で発行枚数は805枚である。今後、より多くの人に活用してもらえるように、利便性が向上することを広くPRする。

**Q** 健診受けて湯かった事業の概要は。

**A** 特定健診の受診率を高め、病気の早期発見、早期治療で医療費の軽減を図ることを目的に、特定健診を受診された国保被保険者を対象に、阿下喜温泉の入浴券とトレーニングルームの利用券を贈呈する。



阿下喜温泉

**Q** 市町村介護予防強化推進事業の詳細は。

**A** 厚生労働省のモデル地区（全国13市町村）に指定された。日常生活動作など、改善の可能性が高い要援護者などに対し、具体的にどのようなサービスを提供すれば効果的かを検証する事業。地域資源（人、モノ、場所）や自助・共助による支援の推進と連携を図る。

**Q** いなべ市学援隊事業は具体的にどんなことをするのか。

**A** 地域の皆さんの力を借りて学習活動の支援と学校運営に対する支援の二通りの事業展開を行う。地域と共にある「いなべの教育」をつくる。

## 産業建設常任委員会での主な質疑

### 平成24年度一般会計補正予算(第5号)

**Q** 林道施設災害復旧事業費、林道冷川線災害復旧工事の進捗状況は。

**A** 平成25年7月末に工事完了できるよう進める。



林道冷川線災害状況

### 公共下水道使用料条例の一部改正

**Q** 下水道使用料金の算出根拠は。

**A** 汚水処理経費に379円（1㎡）かかる。そこへ、一般財源からお金を繰り入れて178円に調整している。企業会計を経営していくうえで将来的に成り立つ経営を考えると、一般財源から繰り入れて調整していくことには限界がある。そこで受益者負担を求め安定経営を目指す。



下水道工事

### 平成25年度一般会計予算

**Q** 農地・水保全管理支払交付金対象地区はどれくらいか。

**A** 2期対策は47地区を予定している。国、県、市の交付金が4,400円から3,200円に減ったが、各地区で担う事務についても簡素化された。

**Q** 地籍調査の調査基準はあるのか。今後の方向性は。

**A** 平成25年度は3地区（山口・宇賀・麓村）を計画している。1つの地区を調査、完了するのに約3年かかるため、各町のバランスを考え進めている。

### 平成25年度農業公園事業特別会計予算

**Q** 農業レストラン「フラール」の建設工事が計上されているが採算性についてどう考えているか。

**A** 辺地債を活用してレストランの建設を行う。運営の採算性はあるように思う。今後も地元食材を活用した食文化の推進を図る。



農業レストラン「フラール」

## 3月議会において発議5件が下記の議員から提出された

提出者 林 正男

賛成者 川瀬 利夫 太田 政俊 水貝 一道 小林 昌彦 多湖 克典

### 市議会委員会条例の一部改正（全員賛成可決）

今回の地方自治法の改正で、委員の選任方法、在任期間等について法で定めていた事項を、条例に委任し、簡素化されました。条例委任された部分を、当委員会条例に加えて整備するものです。内容は、第6条に新たな項目として「特別委員は特別委員会に付議された

事件が議会において審議されている間在任する。」を加え、さらに、第8条では「議長は委員の選任事由が生じたとき速やかに選任する」という新たな項目を加えるものです。

### 市議会会議規則の一部改正（全員賛成可決）

本会議においても公聴会の開催、参考人の招致をすることができるように規定されました。なお委員会に

おいても公聴会の開催や参考人の招致が可能となるように併せて整備するものです。

### 市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正（賛成多数可決）

今回の地方自治法改正により、政務調査費の名称が「政務活動費」に変わり、政務活動費を充てることが

できる経費の範囲を条例で定め、議長は、その使途の透明性の確保に努めることとなりました。

### 市議会政務調査費の交付に関する規則の一部改正（全員賛成可決）

今回の地方自治法の改正により、政務調査費の名称が「政務活動費」に変わり、政務活動費を充てることができる経費の範囲等が条例で規定されることに伴い

まして、いなべ市議会政務調査費の交付に関する規則の一部を改正しようとするものです。

提出者 奥岡 征士

賛成者 伊藤 正俊

### 議会議員定数条例の一部改正（賛成少数否決）

市民に直結した我々市議会としては、市民の意思を、市民の意向を適確に把握し、市民の切なる期待に応えなければならない。

全国の地方議会、県内近隣の議会においても議員定数の見直しについて果敢に取り組んでいる。

日常の議員活動を堅実に行之、市民の声(市民の声は早急な行財政改革・公共施設の統廃合・職員の削減・議員の削減)、民意を市政及び議会に届けることこそが市民から信頼される議員の責務である。

よって、以上の観点から、市民の強い意向も鑑み、まず議員自らが身を切る改革が必要であるという考えのもと、現行20人の議員定数を2人削減し、18人に改正するよう提案するものである。

以上が、この発議案を提出する理由である。

## 反対 VS 賛成討論

本会議において反対・賛成の討論があった議案は次のとおりです。

### 政務調査費の交付に関する条例の一部改正

(賛成多数 可決)

法の改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

#### 反対討論

石原 瞭 議員

#### 「議会が自らへの税支出拡大を 即決すべきでない」

政務調査費については、全国でおよそ税金の使途としてふさわしくない支出事例が、日本共産党以外の会派や議員に多くみられ、厳しい批判を受けその結果、住民監査請求や住民訴訟の対象となってきた件数も多い。

今回、全国都道府県議長会を中心にした働きかけにより国会で可決されたが、この点では議員自らが正して、信頼を回復するという一番求められていることに力を注ごうとせず、住民監査請求や住民訴訟から免れるための法改正では住民の理解は得られない。

今回の法改正の特徴は、充当できる経費として、従来の「調査研究に資する活動」に「その他の活動」を加え、その範囲は条例で定める事とした点である。

政務調査費の使途の適正化に取り組んできた全国市民オンブズマン連絡会議は声明で、使途基準の内容については十分な時間を取って、市民の意見を募って決める事を求めている。また、一部の県議会では、条例改正案を事前に公表してパブリックコメントを募集している。

以上のように、政務調査費に対する批判や、市民に暮らしの厳しさなどがある中、事前の公表もなく住民に開かれた議論や納得もなく、議会が自らへの税支出に係る使途の拡大を議員提案で即決するという姿勢は、とうてい有権者から容認されるものではなく、この議案に反対する。

#### 賛成討論

太田 政俊 議員

#### 「政務調査費について何ら やましい使い方を一切していない」

あたかも、私たちはまともな使い方をしているのだ、あなたたちは不正な使い方をしているのだという論点に立って反対討論をすることはもってのほかだ。

いなべ市議会議員は政務調査費について何らやましい使い方を一切していない。むしろ議会申し合わせによって、こういったことの使い道については、お互いに謙虚に申し合わせをして、その申し合わせに従って、議会だよりを作っている。

昨年の10月に四国の松山市で開催された全国市議会議長会において政務調査費が政務活動費に変わるという講演を皆さんと一緒に聞いた。

政務調査費の問題が全国津々浦々で起こっていることは承知している。お互い謙虚に謹んでいくという立場に立って、これは政務活動費にして当然だと考える。あなたたちだけが良いことをしているのではないと改めて申し上げ、私は、本提案に賛成する。

### 指定地域密着型介護老人福祉施設の入所定員及び指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する条例の制定

(全員賛成 可決)

法の施行により、厚生労働省で定める基準と同じ内容で市の条例を定めるものです。

#### 賛成討論

位田 まさ子 議員

#### 「老人ホーム入所待ちが緩和される」

この条例は、長年市民の要望であった特別養護老人ホームの設立に着手するという市民の願いの詰まった条例制定である。市職員の福祉への取り組みの本気度が表れている。特に地域密着型の市民だけ対象という

ありがたい特別養護老人ホームなので、100人、200人待ちの問題も少しは緩和されると思う。

## 公共下水道使用条例の一部改正

(賛成多数 可決)

下水道使用料を値上げするものです。

### 反対討論①

石原 瞭 議員

### 「市民のくらしを守るため 下水道料金値上げをやめよ」

市の下水道は、合併前の旧4町が競い合って普及に努めた結果、普及率は全国平均78.7%、三重県平均52.8%に比べ、いなべ市は98.1%と大変高い。しかし、広い面積の割には人口密度が低く、山や川など立地条件が悪いため、大きな設備投資が必要だった。そのため大きな公債費がかかっているのは事実であるが、これも平成17年をピークに大きく下降している。

次の世代に借金を残すなどは一般に言われるが、無駄使いの借金ではなく、設備投資の借金はそれをつくったときにいる人だけの負担ではなく、恩恵を受ける人には応分の負担を求めるべきである。

普及率の高さは、市民が等しく恩恵を受けていると言うことができ、大きな部分を市税で負担しても異論はない。

今、市民のくらしは大変なときである。アベノミクスと言われるが、給料や工賃は上がっていないばかりか、ガソリンや電気代の値上げでますます苦しくなっている。こんなときに今までなかった新しい負担増を市民に求めるべきではなく、今回を境に果てしない下水道値上げの連鎖に陥ることを心配して、この値上げ案に反対する。

### 賛成討論①

水貝 一道 議員

### 「公共下水道使用料金の 値上げもやむを得ない」

下水道事業は、市民が快適で衛生的な生活をするため大切な事業である。市内の下水道整備に多額の資金を投入し使用料で返済しているが、それだけでは不足のため毎年一般会計から約12億円が繰り入れられているのが現状である。今後市民税、地方交付税の減少が予想され、限られた歳入の中、多岐にわたって実施されている福祉事業など経常経費は膨らむばかりである。財政の健全化を図るため、受益者負担の原則にそって事業を行うのもやむを得ないと思う。市民にとって公共事業の値上げは賛成できないことであるので、行政は市民にしっかりと説明していただくことを要望する。

### 反対討論②

伊藤 正俊 議員

### 「使い分け？この説明では 下水道料金の値上げは認めない」

税収、交付税ともに増額しているにもかかわらず、値上げ理由の一つに「税収入が減っている、国からの交付金が減らされて市の財政が厳しい」と説明。

一方、予算、決算議会では税収は上向き、交付税は大幅に増やされ財政基金(預金)も積み増しているので大型予算でも大丈夫と説明。使い分け体質に疑問、事実と反した説明で料金値上げを認めることはできない。

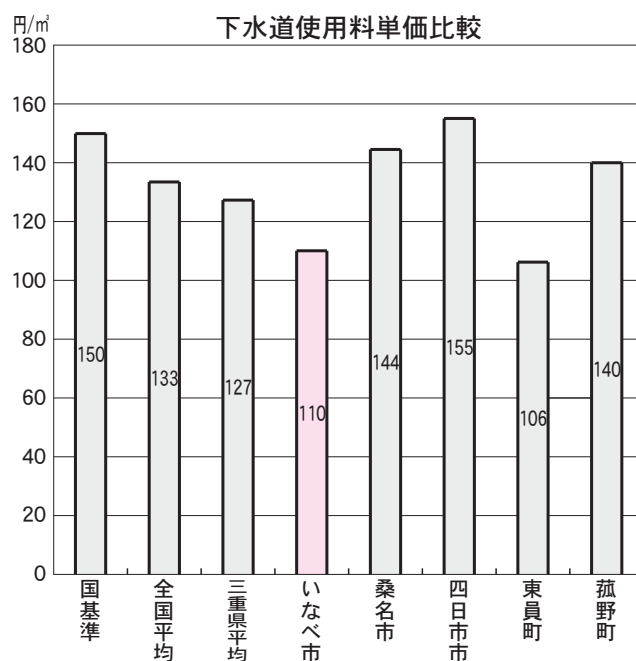
### 賛成討論②

種村 正巳 議員

### 「下水道事業の基盤安定には 使用料の値上げが必要だ」

農業集落排水事業特別会計の機器取替え工事など施設の老朽化にともなう施設費のこれからの急増加や流域下水道負担金の年々の増加が見込まれる等、下水道事業特別会計の決算内容が今後厳しく予想される。

使用料や手数料が微増傾向にはあるものの、それ以上に事業費の増加が上回る会計内容を健全化させると共に将来に向け、下水道運営基盤の安定・強化するには漸次の使用料金改正は不可避として今回の公共下水道使用料条例の改正に賛成する。



### 地域包括支援センター条例の一部改正

(賛成多数 可決)

2カ所ある地域包括支援センターを1カ所に統合するものです。

#### 反対討論

衣笠 民子 議員

「地域包括支援センターは減らさず、  
現状維持で」

現在、市直営の南地域包括支援センターと、社会福祉協議会に委託の北地域包括支援センターの2カ所ある地域包括支援センターを1カ所に統合し、社会福祉協議会委託の北地域包括支援センターだけにして、いなべ市地域包括支援センターにしようとするものである。

これから、さらに介護に関する相談が増加し、市の各部所との連携が必要な難しい事例も増加するのではないかと。そうした難しい事例に対しては、これからも市の各部所との連携が欠かせない。現時点では、地域包括支援センターを統合し、社会福祉協議会委託の1カ所にすることの優位性に納得がいかない。よって、現体制を変えないほうがよいということで本条例改正案に反対する。

#### 賛成討論

鈴木 順子 議員

「地域包括支援センターを一本化し、  
行政との連携を密に」

今までは、北地域包括支援センターと南地域包括支援センターで二分していたため、市民には大変分かりづらく、職員にとっても連携を取りながらの仕事で大変であったと思う。

今回一本化するという事で、分かりやすく、効率的にサービスが受けられるものと考えます。社会福祉協議会に委託することについては、今までも北地域包括支援センターがそうであったと同じように、何ら問題がないと思う。当然、委託であるから市の担当部は連携を密にし、市民へのサービスが低下することなく、福祉事業が行われるよう、さらに努力するよう求め賛成討論とする。

### 市道路線の廃止

(賛成多数 可決)

実態のない道路や市道として管理することが適切でない道路(6路線)を廃止するものです。

#### 反対討論

太田 政俊 議員

「治第3号線の廃止は認めない」

路線名 治第3号線は、旧町の時代に町道認定を受けるため、数年地権者の方々に周辺関係者が努力により、白地の地図にここに道路を造らせてくださいとお願いをして承諾を得た。図面上に道路ができる場所を記したものである。合併前の平成15年3月の地権者への説明会、その後10年間さまざまな要望を繰り返

したが、10年経った今日、道路が実現するとは思っていないが、あまりにも機械的、役所的、全く大人げない認定路線を廃止することは到底認めない。以上の理由で反対する。

なお、代替りのルートを計画していることを承知している。1日でも早い実現を求める。

### 平成24年度一般会計補正(第5号)

(賛成多数 可決)

本年度に行った事業を詳しく調査し、それぞれ必要な経費の増額や不要な経費の減額を補正するものです。

#### 反対討論

清水 実 議員

「説明義務を果たしていない」

笠間保育園の外観を葬儀場のような真っ黒な保育園にしたとの年配の声。保育士、保護者、議員を無視し、説明義務を果たさない。

また、希少動植物保全事業でも物の言えない生物の立場で説明義務を果たさない行政は信頼できないので反対する。

## 平成25年度一般会計予算

(賛成多数 可決)

平成25年度の歳入（収入）・歳出（支出）の予定を計画するものです。

### 反対討論①

清水 実 議員

#### 「なぜ会議の傍聴ができないのか」

私は、議会のチェック機能を果たすべく、藤原岳自然科学館運営委員会の傍聴を求めたが断られた。いまだに議事録も届かず、聞けば委員長は欠席で、平成25年度の予算が議決されていないのに、25年度の事業計画ばかりが決定されるという議会議決無視だった。議案においてもミスの連発などを考えると教育長の不信任に等しいと警告をならし反対する。

### 賛成討論①

伊藤 弘美 議員

#### 「コンビニで住民票などが 発行できるようになる」

私は、この3月議会に提案された平成25年度一般会計予算は、市民に分厚い助成と支援、さらに利便性を考慮した予算であると評価しており賛成討論をする。

特に市民の利便性を高める取り組みの一環として、コンビニで住民票や印鑑登録証明書などが、住民基本台帳カードを持っておれば市内はもちろんのこと、全国どここのコンビニでも昼夜を問わず受けることが平成26年4月から可能となり、住民票や印鑑登録証明書の手数料300円が半額、戸籍謄本の手数料等も現行の概ね半額程度になる。

昨年、兵庫県加西市へ研修に出かけた際、市役所の玄関に自動交付機があったのが私の目に留まり、昨年の9月議会の一般質問でお願いしたことが現実のものとなった。仕事で帰りが遅くなり、必要な書類が受け取れなかった人が、いつでも受けられるようになり市民から歓迎されると思っている。

この他に防災対策、教育現場の整備、子どもの医療費の助成、緊急医療対策としてヘリポート整備事業、高齢者福祉への助成、障がい者への支援など、盛り沢山の重要案件が組み込まれている。

平成25年度当初予算218億8千万円の使い道を繰り返し検討し慎重に執行すれば、いなべ市はさらに素晴らしい市に発展し、期待の大きな当初予算であり賛成する。

### 反対討論②

衣笠 民子 議員

#### 「住民の負担増を抑え、 雇用を守って所得を増やす市政に」

長引くデフレ不況で住民の暮らしは大変である。安倍政権に替わり、経済対策が出されているが、「大企業等強いものを応援すればやがて庶民に回ってくる」

という古い自民党政治で失敗済みの対策である。多くの庶民に明るい兆しはない。

デフレ不況から脱却への道は、庶民の負担増を抑え、直接所得を増やすことである。ところが、市は、学校給食の民営化を進め、地域住民を安上がり雇用にしようとしている。

保育現場等では非正規雇用が多くなっている。有資格の専門職にふさわしく、時給では正規保育士と変わらないようにすべき。住民は、苦しい生活の中でも、「税金は子どものために使って欲しい」と考えている。市も働く住民の所得を増やす方策をとるべき。

また、どのような状況になってもいなべ市で住み続けられるようにするためには、所得に合わせて家賃の決まる公営住宅が必要である。市も「近年市営住宅への入居希望者や空き部屋への問い合わせが増加している」との認識を示しながら、市営住宅の増設や民間アパートなど活用する公営住宅充実の施策を持っていない。

合併10年後から財政が縮小される市町村合併のデメリット対策のため、市は基金を積み上げている。財政から見れば必要な対策かもしれないが、財政規律として問題ではないか。

住民の暮らし福祉を支える運営を求める。

### 賛成討論②

小川 克己 議員

#### 「環境・福祉の充実と市民の 生命・財産を守る積極予算である」

平成25年度一般会計当初予算の総額は、昨年度にくらべ約16億円増の約219億円となっている。これは、いつ起きるかも知れない巨大地震や風水害にともなう災害などを想定し、市民の生命と財産を守るため、早急な整備を行う必要性から、コミュニティFMラジオを活用した災害時緊急放送システムの整備、緊急患者搬送用のヘリポート整備、救急・救命のための車両の購入など、防災対策にかかる予算の増が主な要因であり、まさに、状況に即応した適切な措置である。

また、環境施設（あじさいクリーンセンター）の改修、高齢者・障がい者・児童等への福祉施策の充実、教育環境の整備、道路網の整備促進などについては、着実に図られている。

なお、事業費増大による予算総額は増えたが、企業収益の回復による市税収入の確保や交付税措置がある極めて有利な合併特例債を充てており、後年度に借金返済の負担をさせないよう、短期償還で借り入れたことも評価できる。

以上、いなべ市の現状のみならず、将来もしっかりと見据えた予算配分がなされており、適切な執行を切に求め賛成討論とする。

## 議会議員定数条例の一部改正

(賛成少数 否決)

議員定数を20人から18人へ2人削減するものです。

### 反対討論①

石原 瞭 議員

### 「定数削減は地方自治の 基本を壊すもの」

第1は、市民のくらしを守る上で、今まさに20人の議員が最低必要である。各地域、各年代、あらゆる層を代表した議員が必要である。

第2は、本来市民の声を代弁するはずの議員を減らせと言う声はなぜなのか。ある調査で、議員や議会への不満の理由が「議会活動が十分に伝わらない」、「行政のチェック機能を果たしていない」、「議員のモラルが低い」、「議会内での取引を優先して審議が不透明」、「議会の政策立案能力が低い」などと示された。このような議員や議会に対する不満や不信を払拭し、市民の信頼を高めていくためには、議員が日夜研鑽し、市民の付託に十分応える議会にしていけることが第一義的な対応である。そして、こうした議会のあり方を積極的に示し、市民に理解してもらう以外にない。

第3は、議員の定数問題は地方政治における民主主義の基本問題という点である。言うまでもなく議会議員の役割は、憲法の地方自治にも基づく住民から直接選挙で選ばれた首長と、住民の代表である議員で構成する議会との二代表制の下で、市民の多様な意見をくみ上げ、市政と市民をつなぐパイプ役としての役割、また市政をチェックし、執行機関に対する批判や監視役としての役割、そして政策提案や立法の役割がある。定数の削減で、こうした役割が縮小されることがあってはならない。

### 賛成討論①

小林 俊彦 議員

### 「県下の市議会も 議員定数の削減をした」

去年の3月にもこの発議が提案されて、賛成者少数で否決されたが、去年の3月から今年1月、2月、今日までの間に、社会情勢も変わっている。それから、三重県下の市議会議員の定数も削減されているという理由から賛成する。

### 反対討論②

清水 隆弘 議員

### 「市政を市民の手から 離してはいけない」

議場で互いの主義主張を真っ向勝負するのはまさに市議会の醍醐味だ。意見が違って人格まで否定された

ように日本人は感じがちだが、十人十色、いろんな意見があって当然。そもそもわれわれ市議会議員は議論するのが仕事だ。

反対の理由は、昨年5月発行の議会だより第33号11ページと同じ。議員定数を安易に減らすべきではないとの信念は今も揺るがない。議員定数削減は、有権者の選択肢の縮小になり、少数の民意が拾い上げられにくくなる。

市議会議員は、市民の代表ではない。市民の合意に基づく「代行者」だ。よって市議会議員は市民の意見を聞き、把握する必要がある。だが市民の言うとおりだけに動くというのは「大衆迎合」「ポピュリズム」だ。価値観が多様化し、行政への期待も多様化している。それらを反映する自分たちの価値観を代表する議員が少なくなれば、政治不信がさらに高まる。経費節減が叫ばれる中、議員の歳費が無駄な支出だとすれば議員削減は正解だ。しかし議員の歳費が無駄な支出とは思わない。市民の多くが議員定数削減を求めている。

前回に24人から20人に議員定数が削減された。その結果、市民は欲しかった果実を得られたのか。市政が市民の手から離れてはいけない。逆に議員定数の増加、政治活動に専念できるようにと政務活動費や市議会議員報酬を上げよという声もある。

### 賛成討論②

清水 実 議員

### 「議員定数は人口5,000人に 1人の割合だ」

議員定数の一般市民の声は、人口5,000人に1人という話をあちこちで聞く。今日は、以前にも出された2人減をその第1歩と考え賛成する。

### 反対討論③

岡 英昭 議員

### 「定数削減しても議会改革にはならない」

近隣市町では人口減少がささやかれるが、本市は現状維持以上で微増しており、面積も広大で他とは異なった地域性をもつ。また、本市は企業城下町とも言われるが景気の回復傾向の中、市税の増加も見込め財政運営にも余裕が出始めた時、また選挙を前にした時期に昨年も否決された定数削減の提案をするというのは市民受けをねらったパフォーマンス的なニユアンスがあると思われる。もしかたがないと考える。

議会改革は昨年私も改革委員会に入り数々の改革を行ってきたところである。全国的に財政難な自治体を中心に議会改革イコール議員削減と、それだけが代名詞のように言われる節があるが、それは枝葉末節の

ことであり唯一のことでは決していない。隣国の国会に当たる全人代の代議員を減らしたり、議員に当たる役人を減らし軍人を入れる国に民主主義があるか。一党独裁だ。わが国には明治より「万機公論に決すべし」と5カ条の御誓文にあるとおり、天下の政治は広く民の声に従って決定せよと述べられている。それが今、議員はなくせ、数人でいいとか議員はボランティアでいい等と政治に対する意見封じのようで民主主義を否定するかのような危険さを感じる雰囲気の流れも起きている。市民の声を代弁する機会を減少させ民主主義の崩壊にも通じるような恐れのあるこの案に反対する。

#### 賛成討論③

川瀬 利夫 議員

### 「議員定数削減は市民の声」

議員自らに関わる議員定数問題については、議会として早期に結論を出さねばならない問題である。そのため、市民の声を聞くとともに、県下各市の定数等につき調査し、中山間地域や農村部である地域性、また、点在する自治会数など総体的に検討を行ったところ、現行20人の議員定数を2人削減し、18人に改正の定数削減案を発議したが、残念ながら一票差で否決された。

しかしながら、一年が経過し県内類似団体や近隣市町において議員定数削減案の可決や、今定例会に議員定数削減案が上程されている。

前回、反対者の方々の反対理由がなくなったと思う。

われわれ政和会は、現時点での議会改革の一つとして、議員定数削減が民意であると考える。

以上で、私の賛成討論とする。

## 副市長の選任同意

副市長の選任について同意を求めるものです。

#### 反対討論

衣笠 民子 議員

### 「副市長を置くより正規職員を増やせ」

市長は、12月議会で「市役所の現場でも非正規雇用が増えている。職員の削減が義務づけられているため、職員を減らしてきたが、現場では職員が足りないとの声があり、非正規職員を雇用している」と答弁している。いなべ市のような小規模な市では副市長を置くより、足りない職員を一人でも多く正規雇用で確保することが必要と考え、副市長選任同意案件に反対する。

#### 賛成討論④

伊藤 正俊 議員

### 「議員2人減らしでも市民の意見は反映できる」

議員定数を20人から18人にする案に賛成する。いろいろな意見があって活発な議論が交わされることは良い。2人減らすことはそれほど市民の意見が反映できなくなるのだろうか。反対意見を聞いていると四日市、桑名の市議会はどうなのかと反論したくなる。合併協議の時も「議員の数は18人」にすることを強く主張する議員がいた。

#### 反対討論④

太田 政俊 議員

### 「市議会議員選挙を控えて市民に対してのアピールだ」

議員を20人から18人に減らせば少数精鋭議員になるという提案理由は理解できない。2人減らすだけでは11月に選挙を控えてのアピールではないのか。

どうしても減らしたいのであれば、11月に新しく当選し、議員間で討議をすればよい。

よって、この議案に反対する。

## （賛成多数 可決）

#### 賛成討論①

太田 政俊 議員

### 「国土交通省からの副市長は必要だ」

市長の職務が多岐にわたっており忙しく補佐が必要。いなべ市は藤原町に土石流という災害を抱えており、国土交通省からの副市長は必要だ。

#### 賛成討論②

伊藤 正俊 議員

### 「土石流対応で安心感があつた」

土石流を持っている町として、国からの派遣で安心感があつた。新しい人にも頑張ってもらいたい。

## 議案の審議結果一覧表

### 賛成と反対に分かれた案件

～ 下記以外の36案件は全員賛成で可決しました ～

議長 水谷 治喜は採決に加わらない。 ○は賛成 ×は反対（付託委員会/総：総務常任委員会 教：教育民生常任委員会 産：産業建設常任委員会）

| 会 派                 |             |      | 新政いなべ    |           |         |          |          |         |          |          | 政友クラブ    |          |          | 政和会      |          |          | 日本共産党<br>いなべ市議団 |          | 波<br>動   |          | 無<br>会<br>派 | 無<br>会<br>派 | 無<br>会<br>派 |
|---------------------|-------------|------|----------|-----------|---------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------------|----------|----------|----------|-------------|-------------|-------------|
| 議 案 名               | 付託委員会       | 審議結果 | 小林<br>昌彦 | 位田<br>まさ子 | 岡<br>英昭 | 種村<br>正巳 | 伊藤<br>弘美 | 林<br>正男 | 太田<br>政俊 | 小林<br>俊彦 | 鈴木<br>順子 | 水貝<br>一道 | 多湖<br>克典 | 川瀬<br>利夫 | 水谷<br>治喜 | 衣笠<br>民子 | 石原<br>瞭         | 伊藤<br>正俊 | 奥岡<br>征士 | 小川<br>克己 | 清水<br>実     | 清水<br>隆弘    |             |
| 政務調査費の交付に関する条例の一部改正 | 委員会<br>付託省略 | 可決   | ○        | ○         | ○       | ○        | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | —        | ×        | ×               | ○        | ○        | ○        | ○           | ○           |             |
| 公共下水道使用料条例の一部改正     | 産           | 可決   | ○        | ○         | ○       | ○        | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | —        | ×        | ×               | ×        | ○        | ○        | ○           | ○           |             |
| 地域包括支援センター条例の一部改正   | 教           | 可決   | ○        | ○         | ○       | ○        | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | —        | ×        | ×               | ○        | ○        | ○        | ○           | ○           |             |
| 市道路線の廃止             | 産           | 可決   | ○        | ○         | ○       | ○        | ○        | ○       | ×        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | —        | ○        | ○               | ○        | ○        | ○        | ○           | ○           |             |
| 平成24年度一般会計補正予算（第5号） | 総・教・産       | 可決   | ○        | ○         | ○       | ○        | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | —        | ○        | ○               | ○        | ○        | ○        | ×           | ○           |             |
| 平成25年度一般会計予算        | 総・教・産       | 可決   | ○        | ○         | ○       | ○        | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | —        | ×        | ×               | ○        | ○        | ○        | ×           | ○           |             |
| 議会議員定数条例の一部改正       | 委員会<br>付託省略 | 否決   | ×        | ×         | ×       | ×        | ×        | ×       | ×        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | —        | ×        | ×               | ○        | ○        | ×        | ○           | ×           |             |
| 副市長の選任同意            | 委員会<br>付託省略 | 可決   | ○        | ○         | ○       | ○        | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | —        | ×        | ×               | ○        | ○        | ○        | ○           | ○           |             |

## 3月定例議会で新副市長に吉野<sup>まこと</sup>睦氏を同意

平成25年3月末日で前副市長の城ヶ崎正人氏が国土交通省に戻られたので、新たに国土交通省から吉野 睦氏が派遣され副市長に就任された。

吉野氏は、前副市長と同様に防災対策が専門であり、当市は土石流災害を抱えていることから、市民の生命と財産を守るなどの職務に励んでいただきたい。



# 代表質問

## 会派の代表者が「市長の施政方針」に対して質す

3月4日に5会派から5人の代表議員が平成25年度施政方針に基づいた代表質問を行いました。

なお、代表質問の全内容は後日、市ホームページ、「市議会のページ」、「会議録検索システム」から閲覧することができます。

### いなべ市議会 会派一覧表

(3月末現在)

|   | 会 派 名       | 議員数 | 代 表 者   | 所 属 議 員 |         |           |
|---|-------------|-----|---------|---------|---------|-----------|
| 1 | 新 政 い な べ   | 7   | 太 田 政 俊 | 太 田 政 俊 | 林 正 男   | 伊 藤 弘 美   |
|   |             |     |         | 種 村 正 巳 | 岡 英 昭   | 位 田 ま さ 子 |
|   |             |     |         | 小 林 昌 彦 |         |           |
| 2 | 政 友 ク ラ ブ   | 3   | 水 貝 一 道 | 水 貝 一 道 | 鈴 木 順 子 | 小 林 俊 彦   |
| 3 | 政 和 会       | 3   | 川 瀬 利 夫 | 川 瀬 利 夫 | 水 谷 治 喜 | 多 湖 克 典   |
| 4 | 日本共産党いなべ市議団 | 2   | 石 原 瞭   | 石 原 瞭   | 衣 笠 民 子 |           |
| 5 | 波 動         | 2   | 伊 藤 正 俊 | 伊 藤 正 俊 | 奥 岡 征 士 |           |
|   | 無 会 派       |     |         | 小 川 克 己 |         |           |
|   | 無 会 派       |     |         | 清 水 実   |         |           |
|   | 無 会 派       |     |         | 清 水 隆 弘 |         |           |



新政いなべ  
太田 政 俊

## 1. 予算と財政運営について問う 2. 健康で豊かな心を育むまちづくりのために 3. 観光政策を問う

【質問 1】①新庁舎建設に向けての考えは。②農業公園特別会計を一般会計に戻しては。

【市長】①いずれは旧庁舎の大規模改修か新庁舎の建設か決めなければならない。合併特例債期限の平成30年までにしなければならないが、新庁舎建設は合併協定書になく議会の議決か了解が必要。施政方針に入らなかったのは、議会と歩調を合わせる必要があった。基金を積み立てるなどの財政的な裏付けが必要で、6月議会には基金について提案しようと思う。②一般会計にして指定管理者制度を導入することも選択肢の1つ。

【質問 2】①ヘリポート整備の運営管理はいなべ総合病院にゆだねるのか。②特定検診は待ち時間が長い。検診センターを別棟に構えては。③義務教育の場において体罰は必要と考えているが、市長の考えは。④小学校の統合は時間を費やすばかりでは解決を見ない。市長の強いリーダーシップの決断で小学校統合についての見解を。

【市長】①いなべ総合病院付近の員弁川に堆積した土砂撤去を県に要請。土砂の搬入場所の確保を市がしなければならない。また、いなべ総合病院も防災拠点病院であることからヘリポートを隣接地につくれたら一石二鳥と考えた。運営管理、場所も具体的に話は進んでいないがこれから進めていく。②協議ができるのであれば協議をしていく。③遠回りであっても体罰は避けて言葉で信頼関係を築くことが教育だと思う。④いずれ少子化の中で統合は避けられないが、庁舎の建設時期と合わせられたら効率的かと思う。特に立田地区では小学校が地元の核になっているので、小学校跡地利用を地元と検討している。



農業公園（パークゴルフ場）

【質問 3】①北勢線への補助金が平成25年度から平成27年度まで、これまでの半額で決まった。桑名駅への乗り入れ工事などをやり残しており、乗客数増や安全対策は十分か。②農業公園は青川峡キャンプパークや阿下喜温泉と1つのパッケージとしていなべの観光スポットにして運営して欲しい。北勢ふれあい財団を指定管理者として運営を任せては。③平成32年度に開通をめざす東海環状自動車道の地域対策は必要だが、スマートインター基礎調査は必要か。

【市長】①桑名駅への乗り入れをはやく進めるよう桑名市に求めていく。②農業公園については指定管理者制度の導入を視野に入れながら進める。北勢ふれあい財団は大きな候補。③パーキングエリアを後にスマートインターになりうる所につくっておけば乗り入れが可能になり、経済効果が大きい。



三岐鉄道北勢線

# 1. 財政状況を問う

## 2. 障がい者の就労支援について問う



政友クラブ  
水貝 一 道

【質問 1】平成25年度は大安中学校の建設に14億8,000万円、あじさいクリーンセンターの改修に10億8,000万円、防災無線の整備に3億4,000万円を計上し、積極的な予算が組まれている。①合併特例債の発行が5年間延長になったが今後の財政運営については。②政府の平成24年度補正予算約13兆円が成立した。いなべ市の対応は。

【市長】①合併特例債の使用額は最大で235億2,000万円である。平成24年度末の使用額は117億6,000万円、平成25年度から平成30年度までに117億6,000万円を使用できる大変有利な起債なので有効に活用していく。公債額(借金返済)は平成25年度、平成26年度がピークでその後は18億円～20億円を予定している。



いなべ市役所員弁庁舎

【企画部長】地方交付税は平成25年度が37億3,000万円、平成26年度38億円、平成27年度は30億円、平成28年度は26億円、平成29年度は22億円と減少する。平成31年度から厳しくなり約15億8,000万円、それ以後は15億円～16億円で推移するとみている。

【市長】②政府の補正予算の中身は復興と防災対策、経済成長による富の創出、国民の暮らしの安心、地域の活性化が柱である。いなべ市の補正予算は耐震性貯水槽工事2基で1,300万円、防災無線の整備に500万円、老朽化した市道の修復工事で石川・坂本線、米野・篠立線の2路線に1億1,200万円を予定している。橋梁の修理は宇賀溪の北河内橋、源太橋の2箇所4,800万円、市内の溜池の耐震調査9,390万円、農業用施

設の改修工事1,800万円、六把野井水の改修工事補助金574万円、三岐鉄道の橋梁の改修工事補助金734万円、三岐鉄道橋梁改修工事補助金2,400万円等、約3億2,200万円を予定している。



三岐鉄道三岐線宇賀川橋梁

【質問 2】障がい者の自立に向けてさまざまな取り組みを行っているが障がい者の就労については受け入れる企業が少ないのが現状である。本年4月より「障害者優先調達推進法」が施行される。障がい者が就労施設で作った製品の購入や清掃など業務委託を地方自治体に求めているがいなべ市はどのように考えているのか。

【市長】できるだけ市の業務を増やしていきたい。また、企業にも呼びかけたい。



作業の様子(いなべ市障害者活動支援センター)



政和会  
川瀬利夫

## 1. 命と暮らしを守る道を問う 2. 指定管理者制度の導入について問う

【質問1】①FMラジオの電波を利用した災害時緊急放送システムを導入予定だが、現在の進捗状況は。

FM局免許の許可は民間事業者しかおりないと聞いているが、申請等は進んでいるのか。

②通常放送は市の文化協会に委託となっているが、文化協会に対する支援策は具体的にあるのか。

【総務部長】①現在、東海総合通信局とFM放送について打ち合わせの段階である。申請は打ち合わせ後にし、8月予定で進めている。②経営を委託する支援策として、平成25年度の予算措置で年間2,500万円の委託料を決めた（平成29年度まで、計約1億9,000万円）



いなべ市文化協会事務局（いなべ市北勢市民会館内）

【質問2】①墓地等、自治会所有施設は水道料金が免除されていた所もあったが、今年度からすべての自治会施設が料金徴収となるが。自治会施設は、地域コミュニティを形成する拠点であり、災害時には避難場所になり。施設の水道料金は免除するべきと考えるが、どうか。

②污水处理の効率化について、維持費等の問題で、農村地域における農業集落排水施設を廃止し、公共下水道へ統合するということだが、今後の災害を想定すると、污水处理を川越の污水处理施設に集約し、効率化のみを優先することは、問題があるのでは。また災害時対策をどうするのか。

【市長】①4町の水道料金負担を統一できたので、自治会に施設の負担をお願いした。災害時は、免除する予定。②施設を分散しても、災害時にリスクを分散化できないと考えている。施設が壊れてしまった場合はどうすることもできない。



農業集落排水施設

【質問3】体育協会や文化協会等が法人化し、運営の成果を出してきている。さらに行政改革を進めるべく、体育施設・文化施設の指定管理者制度を導入してはどうか。過去にこの提案について、「文化協会、体育協会と協議しながら、指定管理制度も視野にいて利用促進を図っていく」という回答があったが、現在どうか。

【市長】指定管理者制度は積極的に運用をしていきたいと考えているが、人件費等の問題によってなかなか進まないのが現状である。

# 1. 身の丈論の説明責任を 2. 藤原の学校問題を問う 3. 東海環状自動車道の開通に向け



波動  
伊藤 正俊

【質問 1】①市長は、平成22年に法人市民税はピーク時の10分の1に落ち込み、厳しい財政事情が今後も続くとして説明し、予算168億円は身の丈に合った適正規模と強調した。景気動向、税収とも大きく好転しない中、翌年からの予算は拡大を続け、平成25年は身の丈より50億円も多い219億円を提案。議会は身の丈論、膨張する平成23年以降の予算、決算も認めた。その都度財政は健全で借金の将来負担も少ないと説明され、公共料金値上げの時だけは財政状況は厳しさが続くとする。身の丈論の説明責任を。

②経常収支比率は目標75%、いなべ市の82%はやや財政が硬直化を示し、財政力指数は下降が続く。合併による国からの交付税の特例措置（合併後10年間）が切れた後、財政運営は厳しくなるのではないかと。

③野田総理は「崖っぷちに立つ日本。党は消えても日本は残す」という意気込みで政権を担当した。政権党が変わり自民党の安倍総理は危機突破内閣と背水の陣で国を治める。判断するに日本は危機だ。平成25年いなべ市予算は「不要不急」の精神が貫かれているのか。

【市長】①合併特例債は非常に有利な条件で借りられる。学校などの建設を進めているので予算が膨らんだ。②財政運営は大丈夫。③無駄はない。

【質問 2】①校舎建築を含めて何時の時期にどう対処するのか具体的に説明求める。

②小学校5校の交流授業、校区を外した入学、転入を認める考えはないか。

③教育委員会は頑張っている。より良い教育環境を求めて統合が望ましいと結論を出した。完成年度を一年でも早める努力がほしい。

【教育長】①平成25年に保護者説明、学校配置、小中一貫校、建設場所を検討する。平成26年に新設校舎の検討。平成27年に造成、校舎設計をして30年までに完成させる。

【質問 3】道路計画、インターチェンジの数の検討、中心杭打ち式に立ち会い、待ちに待った高速道路の実現が見えてきた。時期も公共工事関連の国の大型予算が提案され完成に向けて追い風が吹いている。最大限の協力をし「早期実現」に努力してほしい。

開通によってまちはどう変わりどんなまちづくりを考えているのか。

【市長】交通の利便性のあるいなべ市を考えるのも一方法かも知れない。



藤原中学校



東海環状自動車道の整備



日本共産党いなべ市議団  
石原 瞭

## これからの10年 いなべ市の課題は

【質問】施政方針で、今まで教育と福祉に力を入れてきたと述べているが、今後10年のいなべ市の課題は何か。①高齢化対策 ②施設の老朽化 ③新庁舎建築 ④小学校規模検討結果

【市長】財政以外のことでは、高齢化が大きな問題だと思う。今後20年団塊の世代が75歳を超えるまで医療費、社会保障費が伸びてくる。それをどう賄うかが国の課題で、いなべ市も同じ。

①軽度の方の介護予防を地域で面倒みていく、そのモデル地区になっているのがいなべ市で、少ない経費で維持するよう考えていきたい。

②施設数は664棟ある。これを全て耐震化は不可能。相当数解体し、新たに造っていく物もある。これを全て計画を立ててという訳でなく国の補助事業など流れをくんだ形で逐次解決していきたい。見通しは立っていない。

③新庁舎については、私自身必要性は感じている。災害に強い場所で、1カ所のできるようなことを考えていきたいと思っている。6月議会を目途に財源となる基金の造成を議会に提案したい。しかし、議論を性急にしなかった背景は、将来の財政難がある。今は市の財政は良好だが、将来は財政難になることがわかっている。そこで「庁舎をなぜ造るのか、今のままでよいのではないか」というのが大きな問題になるかと思う。場所の問題もある。しもの方は、かみに行かない。だから地理的重心よりも、はるかにしもに感覚的になってしまう。これをいかに解消するか。慎重にならざるを得ない。土地そのものも、全く購入もしていない。よその土地で議論することになり、もしも買収できなかったときどうするのか。いろんな要件があるので、慎重に対応していきたい。

【教育長】④市内の小学校で、複式学級のある過小規模校2校、全学年が1学級20人以下の小規模校は3校。答申は（1）複式学級の解消を最優先に、中学校区内での統合を早急に進めるべき。（2）小規模校の解消。中学校区を変更せずに、他の小学校との統合。（3）過密学級への対応。1学級で30人を超える学級

は、教科によっては少人数によるきめ細かな学習ができる体制づくりに努める。適正規模、適正配置にあたって配慮すべき事項は、（1）均等な教育（2）通学区域の広域化への対応（安全・スクールバス）（3）地域の理解と協力（4）児童への配慮が挙げられている。



立田小学校



スクールバス

# 一般質問

## あなたの声を市政に

3月6日、7日に10人の議員が一般質問を行いました。なお、一般質問の全内容は後日、市ホームページ、「市議会のページ」、「会議録検索システム」から閲覧することができます。

### 1. いなべ市に中国の大気汚染PM2.5の影響は

### 2. 藤原工業団地の遊休地にモータープールの利用は



新政いなべ

伊藤 弘美

【都市整備部長】 本田技研工業(株)から必要なときは借用したいと聞いているが具体的な話はない。他の企業から土地需要はない。平成32年度に東海環状自動車道が開通するので、新たな企業誘致に積極的に情報発信していく。

【質問1】 中国から国境を超えてPM2.5の微小粒子と黄砂が偏西風に乗り飛来し花粉と結合拡散し、汚染濃度は1m<sup>3</sup>当たり70 $\mu$ g/m<sup>3</sup>以上となり凶暴化し肺の奥深くに突き刺さりぜんそくや肺がんとなる。汚染濃度は日によって異なるが濃い日は外出や部屋の換気は控え、学校での屋外運動は中止、マスク着用に心がける。全国各地でPM2.5の濃度を測定しているが、いなべ市の測定結果の公表を求める。

日の平均値は3～27 $\mu$ g/m<sup>3</sup>である。注意喚起のための暫定的な指針1日の平均値70 $\mu$ g/m<sup>3</sup>より下回っている。

【質問2】 4年前に藤原工業団地に本田技研工業(株)がモータープールとして隔年であるが車を置いた。その賃貸料4,560万円が土地開発公社に入っている。また、車の出入りで雑草も生えず一石二鳥の成果を上げた。本田技研工業(株)の今後の見通しと利用周期は。また他の会社からの借用の話はないか。団地に開発して10数年が経過した、企業誘致も併せて求める。



本田技研工業(株)がモータープールとして利用

【市民部長】 いなべ市は大安中学校で測定している。PM2.5の1



新政いなべ

岡 英 昭

1. 総合庁舎建設について問う
2. 「員弁の教育」にほころびが生じているのでは
3. 災害に対する万全の態勢を

【質問 1】 これまで私の総合庁舎建設についての質問に対して意欲的答弁であったが、平成25年度施政方針には一言の記述もない。員弁郡発祥1300年、いなべ市合併10周年の佳節に当たり、初代市長として現在の思いは。

【市長】 建設場所や市役所機能については慎重に扱っていききたい。ただし、基金を設け財政的裏づけだけは行っていききたい。

【質問 2】 度重なる教職員の不祥事が起きているが、「員弁の教育」にほころびが生じているので

は。再発防止策と事案の検証は。

【教育長】 公教育への重大な信用失墜事案を受け、校長と教員が個別面談をして指導助言、相談支援等を行い、朝礼や職員会議で再発防止へ注意喚起をした。教職員の服務規律確保と綱紀粛正の徹底を図っている。教育研究所等において未然防止や危機管理研修を実施していく。

【質問 3】 自然災害に対しての市民意識の高揚や備蓄品、避難生活対策に万全の態勢を。

【総務部長】 自治会、学校等の防災訓練で備蓄資材の確保状況の紹介や期限切れが迫る備蓄品の使用、試食で防災への心構えや啓蒙に役立てている。また平成25年度に地域防災計画の抜本的見直しを計画している。防災委員の意見や市民のパブリックコメントで要望等を取り入れ、市民参加型の計画にしていきたい。防災意識の向上と備蓄品や施設の充実を図っていく。



石榑小学校  
(石榑地区の避難場所となり、防災倉庫もある)



新政いなべ

位田まさ子

1. いなべ市の小、中学校は大丈夫か
2. 生活保護世帯の現状と今後
3. 催事における福祉バスの運行を

【質問 1】 ①教師の体罰に関するアンケート、聞き取り調査をしたか。②いなべ市の最重要課題が福祉と教育の中、教職員不祥事は本当に残念だ。今後の対策は。③教育研究所との関わりは。④生徒への対応、対策は。

【教育長】 ①体罰は0件、アンケートは現在実施中。②申し訳なく思う。綱紀粛正、服務規律の確保を図り教職員の資質向上に努める。③生徒指導の方法や教員と生徒の信頼関係の構築のため、25年度7月～8月に教育研究所の研修を5講座実施予定。④生徒の動揺、

心のケアに努める。

【質問 2】 ①生活保護の現状、窓口、件数は。②不正受給はないか。③国の10%カットはどうするか。

【福祉部長】 ①平成24年、2,500万円、452人。窓口は福祉部、社協、民生委員、病院。相談件数は112件。②悪質案件は4件で返納済み。③国の方針に準ずる。

【質問 3】 催事に福祉バスを出して欲しい。

【都市整備部長】 貸し出しに関する要領を作成中。事前に申請すればバスを貸し出す。

【福祉部長】 高齢者の生きがい対策としてミニサロンや社協の四季の家への送迎はボランティアの方が多く参加して、問題を抱えている。その対策が必要である。

【市長】 送迎の不安解消のため、ミニサロン、催事におけるボランティアの送迎サービスについて、保険をかけて保険料を公的に補助できる方向で考えていきたい。



送迎サービス補償の冊子

## 「いなべ市の農業・教育・ 介護サービス」を問う



新政いなべ

種村正巳

### 【質問1】 「人・農地プラン」 作成状況は。

【農林商工部長】 農業者の高齢化や後継者不足から「人と農地の問題」があり、市でも「人・農地プラン」の作成が進んでいる。平成24年度は85集落で作成された。青年就農給付金・農地集積協力金・規模拡大加算・スーパーL資金の無利子化等有利な制度が利用できる。市単事業の受益者負担金制度の見直しは考えていない。

### 【質問2】 いじめ・体罰・虐待 問題は。

【教育長】 昨年9月に実施した「いじめ状況調査」では生徒間の「冷やかし・からかい・仲間はずれ」など軽微な事案も含めて小学生115件・中学生54件あった。現在は小学生3件中学生14件調査中。体罰報告は2月現在0件。虐待37件の事例があり福祉事務所や家庭相談所に月4～5回面談が必要な事例は小学生3ケース、中学生4ケースある。園や学校から訪問するケースは小学生23件、中学生7件。早期発見、早期対応に努め問題の把握、解決に向けて取り組む。

### 【質問3】 高齢者の生活支援と 介護サービスは。

【福祉部長】 ①29人定員以下の介護老人福祉施設の整備計画は3カ所の事業所で平成26年2月から実施。②小規模多機能型居宅介護計画は公募したが希望する事業所がなかった。③訪問介護の充実を図る。訪問介護サービスは3施設あり医療機関と連携したターミナルケアを図りたい。



老人会リサイクル活動

## 1. 北勢線の支援は

## 2. いなべ市の大気汚染対策は

## 3. 三重県市長会の会長を



政和会

多湖克典

【質問1】 北勢線への支援を3年延長という形ですが、どのように課題を克服するのか。観光という考えはないか。

軽便鉄道博物館について、北勢線の活性化を目的に作られた経緯があると思う。今後どのようにするのが好ましいと考えるか。博物館は保育園児にも人気があり、ぜひ残していくべき。市と共同の運用は検討できるか。

【都市整備部長】 博物館の運営に協力してもらうことで、お互い北勢線を盛り上げる場としていければと考える。

【質問2】 敦賀原発に事故が発生した場合、市まで放射能が飛来するシュミレーション結果が出ている。市としてヨウ素剤の備蓄等は考えているか。

【市民部長】 備蓄はない。国の基準は半径50km以内である。

【質問3】 三重県の市長会次期会長は北勢5市の中から選ばれると聞いている。

日沖市長は適任。これは市にとってとても光栄なことであり、対外的にいなべ市の名前を発信するチャンスである。ぜひ市長会の会長と

なって、いなべ市をアピールしてほしい。

【市長】 会長を受けると忙しくなるので固辞する市長もいる。職にはこだわらない。



軽便鉄道博物館



波動

奥岡 征士

## 1. 行政改革推進委員会の答申を

「絵に描いた餅」にするな

## 2. 急げ

藤原町を「教育のモデル地区」に

【質問1】 ①4町が合併して4重複施設となった公民館や体育館、グラウンドなどの必要性を精査して早急に見直せという行革委員会からの答申を謙虚に受け止め「絵に描いた餅」にするな。素晴らしい答申書や議事録を市民の目に届くところへ公表せよ。インターネットになじみの薄い市民にも留意せよ。行革の評価を外部の第三者に委ねるべきだが、②答申の中の施設の統廃合を早急に具体的展開せよ。

ない市民も多いため今後は並行してリンクなどのPR手段も検討する。行革の評価を外部の第三者によるものと内部に精通した職員によるものと両面評価がベターである。

【教育部長】 ②統廃合、廃止を現在進めているが施設数も多く、関係者との調整に時間を要するものもある。

【福祉部長】 高齢化が進む中で、ご近所福祉で乗り切るための共助の施策を108の自治会と取り組んでいる。

【企画部長】 ①3件の答申が出された。インターネットになじめ

【質問2】 ①学校適正規模検討委員会の概要と設置に至った理由や経緯は。②小中一貫制度の諮問をしなかった理由は。③開催概要と議事録をもっと早く議会や広く市民へ公表する必要はないか。

【教育長】 ①将来、児童数の減少を憂慮して設置した。②小中一貫制度の必要性は認識している。③委員間の意見調整で時間を要した。



西藤原小学校で「小規模特認校」制度を利用



日本共産党いなべ市議員

衣笠 民子

## 1. 大安学校給食センターの民間委託は問題だ

## 2. 住民負担増に対策を

## 3. 員弁町のゴミ 桑名広域清掃事業組合から脱退し、あじさいクリーンセンターで統一処理へ

【質問1】 ①働いている人の雇用を同様の処遇で委託先メイキュー(株)に依頼するということだったがどうか。②食材の手配が委託先任せになると地元からの調達が少なくなる。どうなるか。③経費は民間委託で変わるか。④メイキュー(株)で時給740円の募集広告が出ているが安上がり雇用では。

【教育部長】 ①13人のうち8人が内定した。②平成24年度と同様に市教育委員会に登録した業者に発注する。③ほとんど人件費なので変わらない。④民間はどんな賞与がつくのか分からないのでコメ

ントは避けたい。

【質問2】 ①就学援助は生活保護基準該当の「要保護者」と生活保護基準の1.3倍以下の所得(市町村によって違う)の「準要保護者」に行われる。1.5倍に引き上げを提案する。②給食費が月額小学校4,000円、中学校4,300円に値上げで平成25年度より市内で統一。無償化に踏み切っては。

【教育部長】 ①生活保護の制度も変わるので考慮して検討する。

【市長】 ②財政と十分相談して、難しいと思うが頭の片隅に置いておく。

ておく。

【質問3】 ①あじさいクリーンセンターは大規模改修を終え、平成26年当初から本格稼働する。桑名広域清掃事業組合から脱退時期は。

【市民部長】 ①平成32年度までは脱退できないと考えている。平成33年度以降は参加しないことを通知した。



大安学校給食センター

1. 「いなべ総合病院」の小児科と産婦人科に医師の確保を
2. 女湯盗撮で懲戒免職の教諭事件を問う
3. 県下唯一のイヌワシ生息地保護の具体策は



無会派

清水 実

【質問1】 人口減少時代に、安心で安全なお産環境と子育て環境の充実は市の責務である。いなべ総合病院の産婦人科と小児科に、優秀な医師の確保を求める。

【健康こども部長】 誠心誠意努力はしている。医師不足に対して民間なので直接的な支援はできず、財政援助のみとなり、将来の見通しは立たない。市長や議長の力を借りて頑張る。

【質問2】 女湯盗撮で懲戒免職となった教諭事件において、議長が催促をしてからの説明会は議会軽視だ。説明や「あれもした、これもした」という言い訳よりも校長や教育長の責任は。

【教育長】 校長や教育長は、法的には何ら懲戒処分に関与しないが事件発生を重く受け止めなければならない。校長の責任は生徒や保護者への信頼回復に誠心誠意で努めること。今回は個人の行為であるが、教育長の責任は校長、教職員への綱紀粛正と服務規律確保の徹底を図ることである。

【質問3】 市長の英断でイヌワシが保護された。県下最後の生息地であり、国、県、野鳥の会及び民間研究者と連絡を取り、保護に取り組むべきだがいかがか。

【教育長】 市長の名で保護についての意見書は出し、事業者がモニタリングをしてくれると考え、市としては何もしていない。



イヌワシ（佐藤記章氏撮影）

1. 教職員の不祥事を問う
2. 下水道料金改定の必要性は



無会派

小川 克己

【質問1】 交通事故・盗撮と不祥事への対応は。

【教育長】 教職員の服務規律違反信用失墜行為を2度と起こしてはならないことから、次の4点について検証をした。①教職員の綱紀粛正と服務規律の確保を徹底し、さらなる指導の徹底を図る。②市民皆さんの期待を大きく損なう結果となり、反省と今後の具体的な対策の作成と取り組みを進めていく。③教職員に対する児童生徒および保護者から揺らいでいる信頼回復に向けて具体的な取り組みを図ること。④教育に対する強い使

命感と情熱をもって取り組んでいる教職員をより強力に支援するための方策に取り組む。いなべ市に勤務する全ての教職員に服務規律の確保について、また資質の向上について今後できる限りの支援策を進めていく。

【質問2】 下水道料金改定と今後の計画は。

【水道部長】 基本水量制から基本料金制に変更し、16m<sup>3</sup>までの使用者は安価となり17m<sup>3</sup>以上は料金アップとなる。およそ3,400万円の増収。藤原4カ所、北勢7カ所の

農業集落排水は順次接続予定。公共の管路総延長は427kmで当地より千葉県浦安市ほどの距離がある。将来負担については、中期ではおおむね20年として機器の改修等で20億円程度、長期で50年ほど先になるが管路改修等に270億円ほどが見込まれている。公債費が毎年10億円ほどの返済で一般会計よりの繰入れは避けられない。



下水道工事



無会派

清水 隆弘

## 1. 公職選挙法に定められている

「選挙公営制度」の活用を

## 2. 災害から市民の「命」を護れ

～消防団、防災条例（仮称）～

【質問 1】 ①日本人には「参政権」つまり「投票の権利」と「立候補の権利」がある。選挙公営はお金のかからない選挙を実現し、候補者間の選挙運動の機会均等を図る手段。いなべ市で導入は。

【総務部長】 ①公費負担は選挙公報の発行について、6月議会で条例を制定したい。

【質問 2】 ①災害に備え、各種業界・団体と防災協定の締結を進めるべき。②消防団に期待する役割は。③新入団員確保は。④消防団の将来像は。⑤消防団のイメー

ジアップは。⑥神戸製鋼所火災の際、消防署と消防団の連携がなかったが、教訓は。⑦議員有志のプロジェクトチームにて防災条例（仮称）の策定に向けて勉強会を昨年6月からしている。市の見解は。

【総務部長】 ①様々な業界と協定を積極的に結ぶ。②消防団は地域防災の中核。地域リーダーとして自覚を持って活動してほしい。③消防団協力事業所表示制度を活用。④消防団の伝統を重んじつつ変えられるところは変えて、機能別団員も考える。⑤地域を守るといふ団員の誇りがアンケートから

もわかり、イメージアップにつなげるため、その思いを市も支える。⑥人災を危惧し、消防団に指示がなかった。今後は連携できるよう消防署と十分協議する。⑦いなべ市地域防災計画の後押しをしてもらえる形として期待し、ありがたい。

【法務情報課長】 ⑦お互いに勉強を重ね、詰めていきたい。



消防団協力事業所  
（現在22社が登録）  
パネル

# 総括質疑 Q & A

## 下水道料金の改定

Q 下水道料金の算定根拠と改定率は。

A 現状は基本料金に20㎡までの水量料金を含んでいる。改定後は基本料金に水量料金は含まない。20㎡までは1㎡あたり30円と改定する。16㎡以下では改定前より安くなる。汚水処理原価は178円（平成23年度決算）かかっている。使用料単価は110円。平均で7%の値上げ。

Q 何年間の経営基盤の安定を見込んだ改定か。

A 今回の料金改定でも汚水処理原価178円には届かない。3年から5年周期で段階的に処理原価に見合う原価について

議論してもらう。維持管理経費の削減に取り組む。

Q 出された資料の全国平均、三重県平均、いなべ市、桑名市等それぞれの下水道普及率は。

A 全国平均78.7%、三重県平均52.8%、いなべ市98.1%、桑名市75.1%、四日市市75.9%、東員町98.1%、菰野町63.8%。

Q 下水道事業の借金の残高推移傾向は。

A （公共下水道事業と農業集落排水事業あわせて）平成25年約13億3千万円、平成26年12億6千万円、平成27年11億9千万円、平成33年約8億円。

Q 下水道料金を値上げしない場合、一般会計から下水道特別

会計への繰入額の予想推移は。

A 12億円ぐらいで推移し、平成29年で12億を少し切るぐらい。平成33年には約11億5千万円。

## 地域密着型小規模特別養護老人福祉施設

Q 地域密着型介護老人福祉施設の内容、実施時期は。

A 可能な限り、自宅での生活への復帰を念頭に置いて、入浴、排せつ、食事などの介護や相談、援助日常生活上の世話、機能訓練、健康管理などを行って、持っている能力に応じて自立した日常生活ができるようにすることを目指す29人以下かつ条例で定めた人数以下

の特別養護老人ホーム。高齢者が要介護になっても住み慣れた地域で生活ができるようにいなべ市では、第5期介護保険事業計画で計画し、公募で事業者を決めた。事業所は、社会福祉法人みすゞ（有限会社だいち）で20人、社会福祉法人六永会で9人。合計29人。開所時期は平成26年4月。

## 獣害対策

**Q** サルの捕獲処理費を1頭につき1万円から2万円に値上げできないか。

**A** 値上げすることで処理の効果が上がるなら、猟友会と協議をして新年度から値上げも検討したい。

## 藤原岳山荘トイレ

**Q** 藤原岳山荘トイレの建て替え予定は。

**A** 平成26年度に国の交付金等で行いたい。

## 地域包括支援センター

**Q** 地域包括支援センターは、今まで南地域包括支援センター（員弁、大安地域）と北地域包括支援センター（北勢、藤原地域）の体制で行われてきた。今回1つに統合する条例の改正が出されているが、今までの体制の問題点は。

**A** 2カ所の運営形態で市民にわかりにくい。事業等の調整が必要であり、1カ所のセンター機能にして充実させる。包括支援センターは保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーの3職種の配置が義務づけられている。市直営では一般職

が多く、社会福祉士、主任ケアマネジャー等専門職の確保が難しい。

**Q** 今まで南地域包括支援センターは市直営で、北地域包括支援センターは社会福祉協議会に委託で事業が行われてきた。今回統一するにあたって、社会福祉協議会に委託のみになるがどうか。

**A** 社会福祉協議会は市民にもっとも身近な存在。センター業務を社会福祉協議会に委託することで、機能が集約され窓口が分かりやすくなる。社会福祉協議会に設置している地域福祉課、権利擁護センター、各種福祉団体を取りまとめる団体担当の課がワンフロアで連携できる大きなメリットがある。

## 保育所の統合

**Q** 阿下喜保育所と十社保育所の統合で北勢保育所（仮称）にするとされているが、経過や統合理由、住民の合意は。

**A** 3歳以上児の入所者数は、阿下喜保育所では平成21年4月で73人のピークから平成25年4月には64人に、十社保育所では平成21年4月の60人をピークに平成25年4月の47人へ減少。阿下喜保育所は昭和50年4月、十社保育所は昭和49年4月に建築され、約40年を経過し老朽化。一定の人数を確保することで、いろいろなタイプの子どものふれあいでは個性があることを知ることができる、トラブルに対処法のバリエーションが豊富になる、競い合いが頻繁になり自主性が芽生えてくる、運営経費の削減になるという点から統合が必要。住民の合意は、今のところ保護者には話していないが、適切な時期に

説明会を開催し、理解を得ていきたい。一昨年ぐらいから自治会長には説明している。どんな施設にするかはこれから。地元の要望を聞いて設計にはいる。

## 小学校の統合

**Q** 小学校統合検討事業の説明を。

**A** 平成24年度に「いなべ市立小学校適正規模及び適正配置についての提言」を受けて、平成25年度から新しい学校づくりの検討を進めていく。子どもたちにとってよりよい学習環境の整備にむけて、学校を拠点に保護者、地域住民との検討を始めていく。検討委員会等へ助言をもらう学識経験者の報償費を予算化した。

特に立田地区の跡地利用について慎重に進めながら、そのめどが立った段階で建設になる。1つにするなら藤原小学校というかたちで賛同を得られるように進めたい。

## 公営住宅

**Q** 「市営住宅への入居希望や空き部屋の問い合わせが増加している」と予算説明資料にあるが、公営住宅の増設の方策は。

**A** 民間の空き家も目立っている。まず、民間の住宅を利用してもらいたい。民間住宅利用者への補助は考えていない。これからの課題。



市営いなべ中央住宅

## いなべ市議会だより



### 市民の声

クイズの応募ハガキに書き添えられた、議会・議会だよりなどに対するご意見や感想を紹介します。

◎ いなべ市議会だよりを毎号拝読させていただいています。写真やイラストで分かりやすいです。12月定例議会において新しい議会構成になりましたが、住民の声を反映し、様々な議定書を提出・可決し、より良い市民生活が送れるようにしていただきたいです。クイズも楽しいですが、クロスワードパズルなどを掲載していただくと嬉しいです。 76歳 女性

◎ 議員の数を減らしてほしい。 29歳 男性

◎ きちんと報告して頂き感謝します。藤原町、いなべ市と傍聴に行ったけれど、今はもう聞こえが悪いので諦めました。 79歳 男性

◎ 高齢の家が多くなってきました。近くの他人にあいさつが大切だと思います。 65歳 女性

◎ いなべ市誕生10年目の節目の年にもっと元気のある市政づくりに頑張ってください。 54歳 女性

◎ 市で取り組んでみえる行政等を知ることができ、毎号大変興味をもって見せて頂いています。 64歳 女性

◎ いなべ市議会だよりを毎号拝読させていただいています。写真やイラストで分かりやすいです。議会改革にも積極的に取り組んでおられるようですが、市民によりオープン（例えば議会の夕方開催など）で身近な議会になることを期待します。12月定例議会において新しい議会構成になりましたが、住民の声を反映し、様々な議定書を提出・可決し、より良い市民生活が送れるようにしていただきたいです。 50歳 男性

◎ 道路灯の件はよく分かりますが、道路半分ほどまではみ出ている樹木の枝等は、どこに頼めば切ってもらえるのですか。道路灯の光がとどきませんが。 78歳 女性

◎ 議会だよりがないといなべ市の様子がわかりません。役立っていると思いました。今回のクイズを出すにあたり、改めて読み直しました。ご苦労さまです。 71歳 男性

◎ 3番の答えのコンビニで住民票が交付されると時間の限定無く便利で良いと思います。 47歳 女性

◎ いつも議員さんお世話様です。大変よくわかり、細かい事までよくわかり感謝しております。 76歳 女性

◎ いなべ市のために頑張ってください。議会だよりのおかげで少しは分かります。 70歳 女性

◎ 豪雨による青川河川敷の崩壊、山からの流木が目立つ。まず、山の崩壊をくい止める対策が必要だと思います。 69歳 男性

◎ いつも議会だよりは一番分かりやすいし楽しみにしています。元気で頑張ってください。 73歳 女性

◎ 子供の医療費が、中学生まで無料の市がありますが、いなべ市は平成26年4月から検討されているのは本当ですか。市民の医療サービスですが、いなべ市は小児科が少ないし、総合病院も人員が不足している。この点については早急に解決してほしい。住民票ですが、四日市市、桑名市では200円、いなべ市では300円。なぜ料金が高いのか。 45歳 男性

◎ いつも市民の為に尽力いただきありがとうございます。農業の担い手である夫に従い日々努力しておりますが、収穫時期になると獣害にあい、がっかりしています。冬の間に周囲の木を倒したり竹藪の掃除をしたりと隠れ場所を作らぬようにしておりますが効果はまだまだです。 68歳 女性

◎ いつも議会だよりを楽しみにしています。また、クイズがあると余計に楽しみに読んでいます。色々意見もあり大変ですが、何でも話し合って市が良くなるよう頑張ってください。今、子どものいじめがやましく言われていますが、大人でも職場でのいじめとは言わないかも知れませんが、気にさわる事を言う人もいます。お互い相手の気持ちを考えて勤めたいものです。 84歳 女性

◎ 中津原から杉山道路まで工事中ですが、着工から何年も工事中で、開通を何年にするか目標設定を聞かせてください。また、計画はどのように進められるのか。 65歳 男性

◎ いなべ市に引越して5年、やっと行事等に少し理解している気がします。でも、まだまだです。除々に理解していきます。 66歳 女性

◎ いつも議会だよりを読ませていただいています。色々勉強になります。これからも議員様の活躍を期待しています。 57歳 女性

◎ いなべ市発展のために努めていただきありがとうございます。誕生して10年目になったことが、ただただビックリしています。 56歳 女性

◎ いなべ市議会だよりを毎号拝読させていただいています。写真やイラストで分かりやすく、読みやすいです。議会改革にも積極的に取り組んでおられるようですが、市民によりオープン（例えば議会の夕方開催など）で身近な議会になることを期待します。クイズも楽しいですが、クロスワードパズルなどを掲載していただくとうれしいです。 77歳 男性

◎ ますますのご活躍をお祈りしています。 女性

◎ 議会だよりで私たちが選んだ議員さんの活動を知ることができます。 女性

◎ 「議会だより」の発行にて私達は市議会の動きを知る事ができ議案の内容も知る事ができますので「いなべ市議会だより」は必要と思います。 64歳 女性

◎ いなべ市の議会の様子を知るのは「議会だより」です。必ず必要な広報と思います。 70歳 男性

◎ サル、イノシシ、シカ等を駆除してください。 73歳 男性

◎ いなべ市議会だよりを毎号拝読させていただいています。写真やイラストで分かりやすく、読みやすいです。議会改革にも積極的に取り組んでおられるようですが、市民によりオープン（例えば議会の夕方開催など）で身近な議会になることを期待します。12月定例議会において新しい議会構成になりましたが、住民の声を反映し、様々な議定書を提出・可決し、より良い市民生活が送れるようにしていただきたいです。 48歳 男性

◎ 住み良いいなべ市になる様に頑張って下さい。 66歳 女性

◎ このようなクイズがあると堅いイメージだけではないので嬉しいです。もし、よろしければ、こぼれ話とか、こんな驚くことなどをイラスト付きなんかだとされると面白そうと思います。 51歳 女性

◎ 議会だより、リンク等楽しみです。私の近くに員弁高校（跡地）にグラウンド、野球場、少年グラウンド等、災害避難所、楚原御園1号線道路ができるのを楽しみです。 女性

◎ 日頃より地域のためにご尽力していただきありがとうございます。議会だよりの中で、がんの検診率の低さが気になりました。長い年数厳しい労働に従事された人が、せめて心身は豊かな老後を送れるよう予防医学とその実践に力を注いでいただけるとありがたいです。財政事情の厳しいおり、医療については予防が重要と思います。 50歳 女性

◎ 市議会の動きの「みえる化」に期待します。 65歳 男性

◎ 毎号楽しみにしています。いなべ市誕生10周年おめでとうございます。早いものですね。住民票など市役所は閉まるのが早いので、コンビニで出来ると大変ありがたいです。便利になりそうです。この前、母の障害手帳をもらいました。何か色々と支援してもらえそうで助かります。手帳を持っていなくても障害者がいる家庭に何か支援してほしいです。介護疲れでという話を聞きますが本当だと思います。もっと情報誌で紹介してほしいです。 37歳 男性

◎ 防犯灯の交換の際、蛍光管かLEDかを申請書に記入となっていますが、これからの時代LEDに替えていかれてはいいかがか。 71歳 男性

◎ いつも議員さんたちが市民のために頑張っていてくれ嬉しいです。個人的欲望ですが、一人暮らしでも安心できる市民でありたいです。 72歳 女性

◎ いつも拝読させて頂いています。激動の世の中、いなべ市のためにご尽力ありがとうございます。住みよいいなべ市でありますように。 77歳 女性

◎ わかりやすく説明されていて身近に感じました。 52歳 女性

◎ 市民に一番近い議員の皆様の諸々の問題提起、対応を願いたい。よりよいいなべ市づくりに期待しています。 50歳 男性

◎ 文字間隔、活字も読み易く、余白の取り方も適正だと思います。以前に比べ親しみが持てます。適宜の写真もいいですね。 68歳 女性

## クイズ当選者

正解は

ご応募いただき、ありがとうございました。

問1 議会(広)報編集委員会

問2 ②10年目

問3 ②コンビニ

正解者の中から、厳正に抽選を行った結果、次の15人の方が当選されました。

|       |         |       |         |
|-------|---------|-------|---------|
| 東 禅 寺 | 松川 吉治 様 | 六 石   | 武藤 克昭 様 |
| 市 場   | 二之湯人美 様 | 昭 電   | 川瀬 夏枝 様 |
| 丹生川久下 | 山北 純子 様 | 下 笠 田 | 倉田 昌枝 様 |
| 丹生川久下 | 山北 桃子 様 | 新 田   | 渡辺 久美 様 |
| 市 場   | 大西志津子 様 | 其 原   | 岡本 保信 様 |
| 昭 電   | 酒井ふみへ 様 | 北 金 井 | 日紫喜吉子 様 |
| 楚 原   | 清水 里美 様 | 塩 崎   | 大西富士子 様 |
| 六 石   | 武藤富貴子 様 |       |         |

応募いただいた「ハガキ」にご記入の個人情報については、目的以外に一切使用いたしません。

## 笠間保育園竣工式



テープカット



祝辞を述べる小林俊彦 副議長

## 編集後記

議会だよりのクイズに71人ものご応募と貴重なご意見を賜りありがとうございました。

さて、3月定例議会で大きな役割の一つに新年度の予算を審議するということがありました。「あれもする、これもする」といった行政サービスから、今は「あれをするか、これをするか」と「選択」する時代になりました。慎重かつ活発な議論を行い、予算案を賛成多数にて可決いたしました。昨年度から引き続き行っている大安中学校の建設に14.8億円、あじさいクリーンセンターの大規模改修に10.4億円、そして新規事業として防災無線の整備に3.4億円など投資的経費に約40億円を計上し、総額219億円の過去最大の当初予算です。合併特例債の発行期限が平成30年度に迫っています。普通交付税も段階的に減額されます。1円たりとも無駄遣いはできません。今後も議員間で研鑽を積み、市議会としてチェック機能の強化を果たしていきたいと思ひます。

## 6月定例議会（予定）

- ◆開会日……………6月 3日(月)
- 一般質問……………6月10日(月)
- 一般質問……………6月11日(火)
- 総括質疑……………6月14日(金)
- 総務常任委員会……………6月14日(金)
- 教育民生常任委員会……………6月17日(月)
- 産業建設常任委員会……………6月18日(火)
- 常任委員会(予備日)……………6月19日(水)
- ◆閉会日……………6月21日(金)

皆さんからのご意見、  
ご感想をお待ちしております。

### 連絡先

〒511-0292  
三重県いなべ市大安町大井田2705番地  
いなべ市議会 議会事務局  
TEL(0594)78-3515/FAX(0594)78-3516  
<http://www.city.inabe.mie.jp/~gikai/>